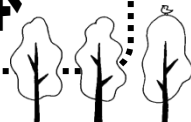


推薦図書

図書委員がすすめる
読んで得するテッパン本



3 年

『空の中』 有川浩著

この本は、著者の自衛隊三部作の「空」に当たります。原因不明の航空機事故と、謎の知的生命体。それらに関わる人々はやがて、ある場所へと集まります。登場人物の勇気に感動します。(34H 問谷)

『虹』 北川悠仁著

ゆず北川悠仁さんが書いた本です。前向きになれる言葉・詩がいっぱいで、本当に元気・勇気がもらえます。(35H 北出)

『三毛猫ホームズの騎士道』

赤川次郎著

資産家の英哉は智美との結婚を機にドイツで古城を購入したが、新婚旅行中に事故で智美を失います。事件を解決しに行く片山刑事と妹の晴美の掛け合いが面白いです。

(34H 蓮沼)

『ウォーリーのふしぎなたび』

時間があっという間に過ぎます。面白くて楽しめます。

(37H 林・38H 橋野)

『たればんだ』

とにかく癒されます！

(38H 金子)

『携帯彼氏』 kagen 著

友人の謎の死の真相を探るために、里美は恋愛シミュレーションゲーム「携帯彼氏」を携帯サイトからダウンロードします。するとダウンロードした人々が怪死を繰り返すことになるのです。とてもおもしろいです。

(36H 藤本・37H 新谷)

1 年

『坂本龍馬(1)黒船の巻』

山岡荘八著

坂本龍馬は十九歳。土佐を後に江戸の道場で修業中の身です。そんなときにペリーが来航し江戸の町は大騒ぎになります。黒船撃退を叫ぶ仲間達の激論珍論をよそに、龍馬はぼんやりしていて、その才能のめざめはありません。ホームシックにかかり、高知に帰った龍馬の身次々と事件が起こります。何かあるたびに少しずつ成長していく坂本龍馬がとても立派ですごくと思うし、人と違う考え方を持っていることが面白いです。

(11H 木村)

『真夜中のパン屋さん』 大沼紀子著

都会の片隅に真夜中にだけ開く不思議なパン屋さんがあります。オーナーの暮林、パン職人の弘基、居候女子高生の希実は、「焼きたてパン万引き事件」に端を発した、失踪騒動へと巻き込まれていきます。上手に生きられない困ったひとたちを、パン屋さんが救うお話です。主人公がたくさん問題を解決していくところがおもしろいです。

(15H 山本)

『告白』 湊かなえ著

小学生がプールで死んでいるのが見つかります。娘を殺された教師、加害者の生徒 2 人、クラスメイト、加害者の親…。章が変わるごとに視点が変わって、一体悪いのは誰なんだ？と複雑な気分になります。

(15H 横道)



『予知夢』 東野圭吾著

ガリレオシリーズの 2 冊目。一見してオカルトと思える事象も物語の伏線であったり、科学的に再現可能？なものばかりで、ストレスなく読み進められます。最後に今までの謎が繋がるのが面白いです。

(16H 山田)

2 年

『スイッチを押すとき』 山田悠介著

青少年自殺抑制プロジェクトセンターで、監視員として勤務する南洋平。ここでは、4 人の少年少女に自らの命を絶つ【赤いスイッチ】を持たせ、実験をしています。極限状態で軟禁され、孤独に耐えられず次々と命を絶つはずが、この 4 人は“七年間もスイッチを押さない”という異例の子供でした。彼らが「生きたい」と願うその理由を聞き、南たちは脱出を図るが、そこには非情な運命が待ち受けています。最後の展開がすごくおもしろいです！

(26H 木上)

『アントキノイノチ』

さだまさし著

永島杏平は、高校 3 年生の頃に親友の山木が学校内の人気者である松井からネットいじめの被害に遭った末、自殺してしまうという過去を持っています。杏平はそのトラウマから高校中退後うつ病に悩まされながらも、遺品整理の仕事を紹介され、見習いとして働いていくうちに「命」と向き合う現場を体験していきます。杏平は其中でゆきという同い年の女性と知り合っていくが、ゆきもまた、人には言えない凄惨な過去を持っていました。

岡田将生と榮倉奈々、松坂桃李で映画化もされています。

(27H 戸谷美涼)